

部 宇 部 生 井 宇 部 生 福 生

NETISに登録

生コン会社
では北陸初

「福井宇部FBコン」

FA混合型高炉セメントコンクリート

福井宇部生コンクリート（南谷哲彦社長）とグループ会社のユーコン（石川裕夏社長）が共同開発したフライアッシュ混合型高炉セメントコンクリートがこのほど、「福井宇部FBコン」の名称で国土交通省新技術

情報提供システム（NETIS）に登録された（KK-100017-A）。温度ひび割れや乾燥収縮ひび割れを低減するコンクリートで、生コン会社によるNETIS登録は珍しく、北陸地方では初。

福井宇部FBコンは、2004～06年に福井県、福井大学との産官学共同研究事業による研究

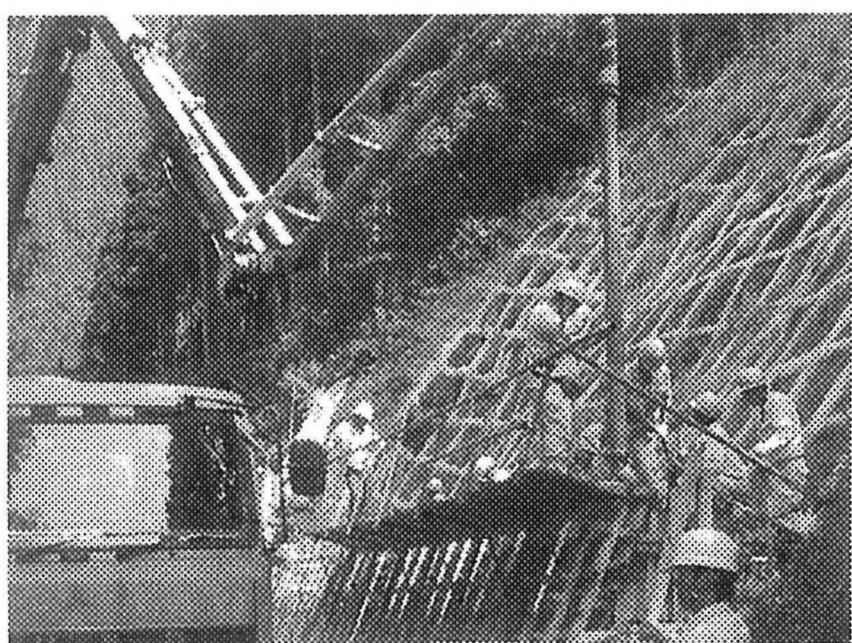
成果がベース。07年3月には「フライアッシュ混合型高炉セメントコンクリート」（温度ひび割れ・乾燥収縮ひび割れ低減型コンクリート）配合・製造及び施工指針（案）」として産官学共同研究報告書も発行している。

フライアッシュを使用した場合、未燃カーボンがAE剤を吸着し、空気

も乾燥収縮率を低減でき、水和熱の発生を抑制する効果もあるため、乾燥収縮や温度ひび割れの発生を抑えることが可能。産業副産物を積極的に利用することで循環型社会実現や温室効果ガスの排出削減にも寄与する。

福井宇部は「NETIS登録は、製品の差別化を図るのが難しいとされる生コンクリート製造業において、当社の技術力

を最大限生かし、技術の分野で他社との差別化を図りたいと考えて取り組んだもの」としている。今春には5000㎡の出荷を予定している。



福井宇部FBコンの打設状況

連行性や空気保持性能が著しく低下し、色むらも生じやすい。福井宇部FBコンは特殊AE剤を使用することでこの問題を解消した。従来のコンクリートより